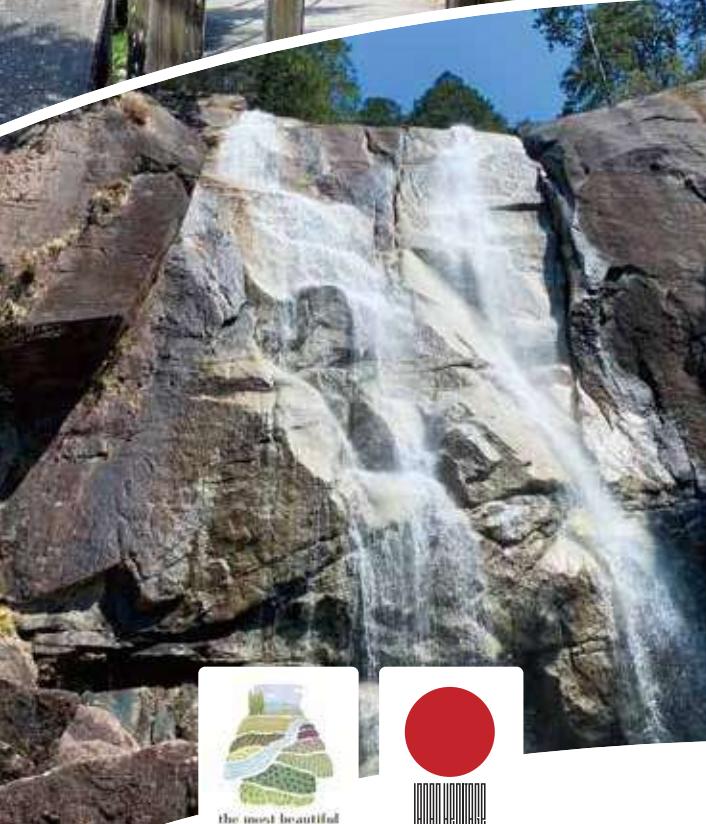
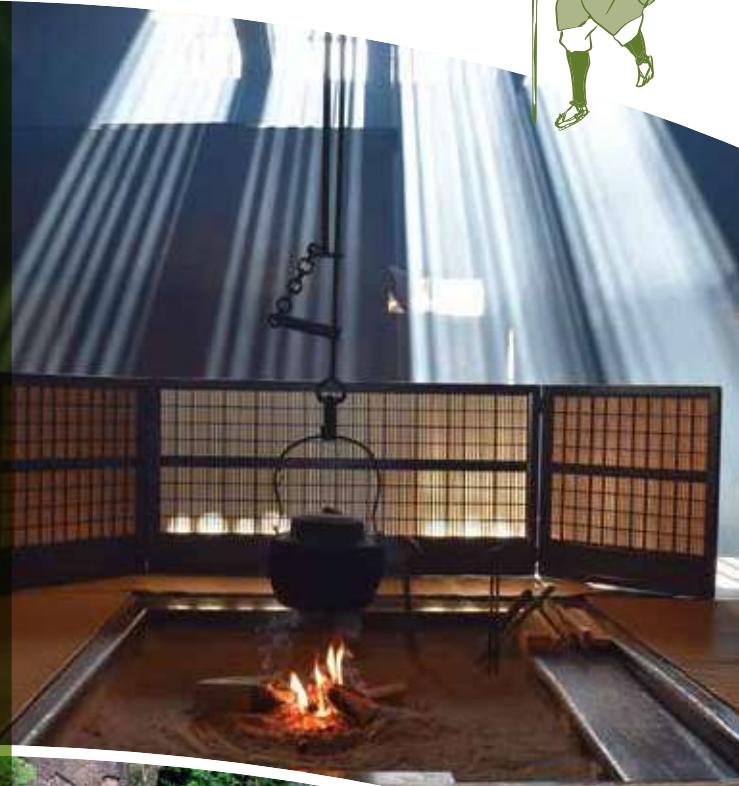


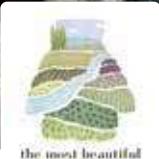
ぶらりなぎそ



旅に出よう。



いつまでも変わらない歴史の古道へ、清流の渓谷へ。
懐かしさと温もりが待っている、信州・南木曽へ。



南木曽町は
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。



JAPAN HERITAGE
日本遺産

(一社) 南木曽町観光協会

歴史街道

中山道

なかせんどう

中山道の旅人になる。

中山道は江戸日本橋を起点に
京へ向かう百三十五里三十四町の道。

中山道は江戸日本橋を起点に
古き時代を、身近に感じるとともに
今も残る江戸のたたずまいは、
旅人の心を癒す優しさがあります。

南木曽駅から妻籠宿を抜け馬籠宿へ：
古き時代を、身近に感じるとともに
今も残る江戸のたたずまいは、
旅人の心を癒す優しさがあります。



別紙マップF-4

6 藤原家住宅(県宝・公開)



往時のままの家並みを残す大妻籠

間取・構造仕上りから十七世紀半ばまでさかのぼる古い建築であることが判明し、昭和六十三年に復元修理されました。

1 かぶと観音(町史跡)
木曽義仲が北陸路に出撃せんとする時、かぶとの八幡座の觀音像を祀ったのがはじめとい伝えられています。



別紙マップE-4

2 上久保の一里塚(町史跡)
江戸後期の歌人良寛がこの塚で、町内で原形をとどめているのはここだけです。



別紙マップE-4

3 良寛歌碑
江戸後期の歌人良寛がこの付近を通った時に詠まれた和歌「この暮のもの悲しきに若草の妻よひたて小牡鹿鳴くもの」の歌碑があります。枝垂梅も見事です。



別紙マップE-4

4 妻籠城跡(県史跡)
戦国時代から妻籠は木曽の南のおさことして重要でした。妻籠城は主郭二の郭を空堀、帯曲輪をそなえた規模の大きな山城で、主郭からは妻籠宿・三留野宿が一望できます。



別紙マップE-4

5 石柱道標(町史跡)
妻籠は中山道と飯田街道との分岐点として栄えたところで、この道標は明治十四年に国道開通を祝い、飯田・近江地元の商人によつて建てられたもので、高さ三メートルあまりの大石柱です。



別紙マップF-4

6 藤原家住宅(県宝・公開)
間取・構造仕上りから十七世紀半ばまでさかのぼる古い建築であることが判明し、昭和六十三年に復元修理されました。



別紙マップF-4

残された石畳の道には、行き交う行列や先急ぐ旅人達の声や、足音がしみています。
江戸風情の漂うこの街道はなぜか懐かしくつい、ふらり歩きたくなります。
それは江戸と現代とを結んでいるかのように。



与川道

よがわみち

そして三留野宿と野尻宿を結ぶ

段々田んぼの間を、つづら折りの道が続く。その昔、水害で通行できない中山道本道の迂回路でもありました。

1 和合の枝垂梅
(町天然記念物)
江戸時代、木曽谷有数の酒造家遠山氏の庭木として愛育されてきた古木。



別紙マップD-4

2 園原先生碑
(町天然記念物)
江戸時代、木曽谷有数の酒造家遠山氏の庭木として愛育されてきた古木。

別紙マップD-4

3 等覚寺の円空仏
(町有形文化財)
円空仏は町内に六体あり等覚寺には草駄天像以下三体
があり、公開されています。

別紙マップD-4

4 三留野宿本陣跡
・枝垂梅
(町天然記念物)
本陣の庭木だった枝垂れ梅の古木と、明治天皇御膳水が名残を留めています。

別紙マップC-5

5 廿三夜塔
・枝垂梅
(町天然記念物)
二十三夜の遅い月の出をおみみ豊作などを祈る民族信仰の塔です。

別紙マップC-5

6 古典庵・与川の秋月
(木曾八景) (町名勝)
仲秋の名月はここから眺めて大きく見事です。(また)こは、江戸時代初期に僧坊の古典庵のあったところでもあります。

別紙マップC-5

7 白山神社の大杉
(町天然記念物)
また、春と秋の例祭には神社に神樂獅子が奉納されます。

別紙マップC-5

8 馬籠峠
(まごとう)
御小休所は、高貴な方が通る際休憩所として見晴らしのよい場所などに設けられています。

別紙マップC-5

9 阿弥陀堂
(あみだどう)
阿弥陀堂は江戸時代初期に僧坊の古典庵のあったところでもあります。

別紙マップC-5

10 根の上峰
(ねのじょうほう)
境内には庚申碑・巡礼参拝碑、名号碑などの石碑があります。古いものは元禄五年(一六九二)のものもあります。

別紙マップC-5

11 子安観音と枝垂桜
(町天然記念物)
岡子規の白雲や青葉若葉の三十里の句碑があります。

別紙マップG-3

12 松原御小休所
(まつばらおこやすみじょ)
御小休所は、高貴な方が通る際休憩所として見晴らしのよい場所などに設けられています。

別紙マップG-3

13 関の上峰
(せきのじょうほう)
根の上峰と野尻の峠の峠で、かつてはここにも御小休所が設けられていました。

別紙マップG-3

14 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

15 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

16 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

17 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

18 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

19 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

20 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

21 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

22 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

23 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

24 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

25 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

26 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

27 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

28 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

29 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

30 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

31 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

32 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

33 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

34 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

35 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

36 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

37 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

38 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

39 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

40 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

41 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

42 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

43 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

44 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

45 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

46 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

47 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

48 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

49 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

50 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

51 阿弥陀堂
(あみだどう)
境内には庚申碑・巡礼参拝

別紙マップG-3

妻籠宿

妻籠宿

中山道を行けば必ず立ち寄りたい宿場町。家々の細部にまで町並みを守る思いが熱く伝わってくる。



江戸から数えると
中山道四十二番目の宿場で、
木曽の宿場の中でも
最も保存状態が良く、
家並みが残されています。
ぶらりと立ち寄った店の人々
温かさを感じます。



慶長六年（六〇）徳川家康によつて「宿駅」が定められ、江戸から四十二番目の宿場として整備されました。明治以降宿場としての機能を失い衰退の一途をたどりましたが、昭和四十三年からはじめた町並み保存事業により江戸時代の面影がよみがえりました。



① 鯉岩（町名勝） 「木曽路名所図会」には鯉が空に向かって泳ぐ姿が描かれています。明治二十四年の濃尾大地震により形が変わってしまいました。

② 口留番所跡（くちどめばんしょ） ここには、戦国時代から十七世紀半ばまで関所が置かれ、中山道を行く人々を監視していました。

③ 熊谷家住宅（町有形文化財） 十九世紀初頭に建てられた長屋の部。長屋の左右の半分づつが残り、一軒の家のとして使用されていました。



⑦ 脇本陣奥谷
(国の重要文化財)
代々脇本陣・庄屋・問屋を務めた家で、現在の建物は明治十年にそれまで禁制であった桧をふんだんに使って、城郭を模して建てられたものです。その優れた建築技術などが評価され平成十三年六月に重要文化財に指定されました。島崎藤村の初恋の人「ゆふ」さんの嫁ぎ先でもあります。

⑧ 歴史資料館
脇本陣奥谷に隣接しており、南木曾や木曽路の歴史、町並み保存運動の歩みなどを多くの模型や映像を用いてわかりやすく展示しています。

⑨ ギンモクセイ(県天然記念物)
和智塾神社の神官を務めた矢崎家の庭木として代々愛育されてきた巨木です。開花期は九月下旬頃。



別紙マツト-4
ギンモクセイ



**別紙マップF-4
妻籠宿本陣**

6 妻籠宿本陣

6 妻籠宿本陣

島崎藤村の母の生家であり
最後の当主は、藤村の実兄
で、馬籠から伯父の所へ養子
に來た広介でした。本陣は
明治になつて取り壊され、そ
の後、御料局妻籠出張所が
建設されました。が、のちに
町に払下げられたのを機に、
平成七年、島崎家所蔵の江
戸後期の絵図をもとに復元
されました。



別紙マップF-4

卷之三



F-4

延命地蔵（えんめいじぞう）
文化十年（一八一三）光徳寺住職忠外和尚が地蔵尊像の浮かび上がりでいる岩を蘭川より運んできて安置したもの。



郵便局

13 下嵯峨屋（町有形文化財）
当初、長屋であったものの一戸を昭和四十三年に解体復元しました。妻籠宿における庶民の住居を代表とする片土間に並列二間取の形式をよくとどめています。



別紙マップF-4



時空間に
まぎれ込む。

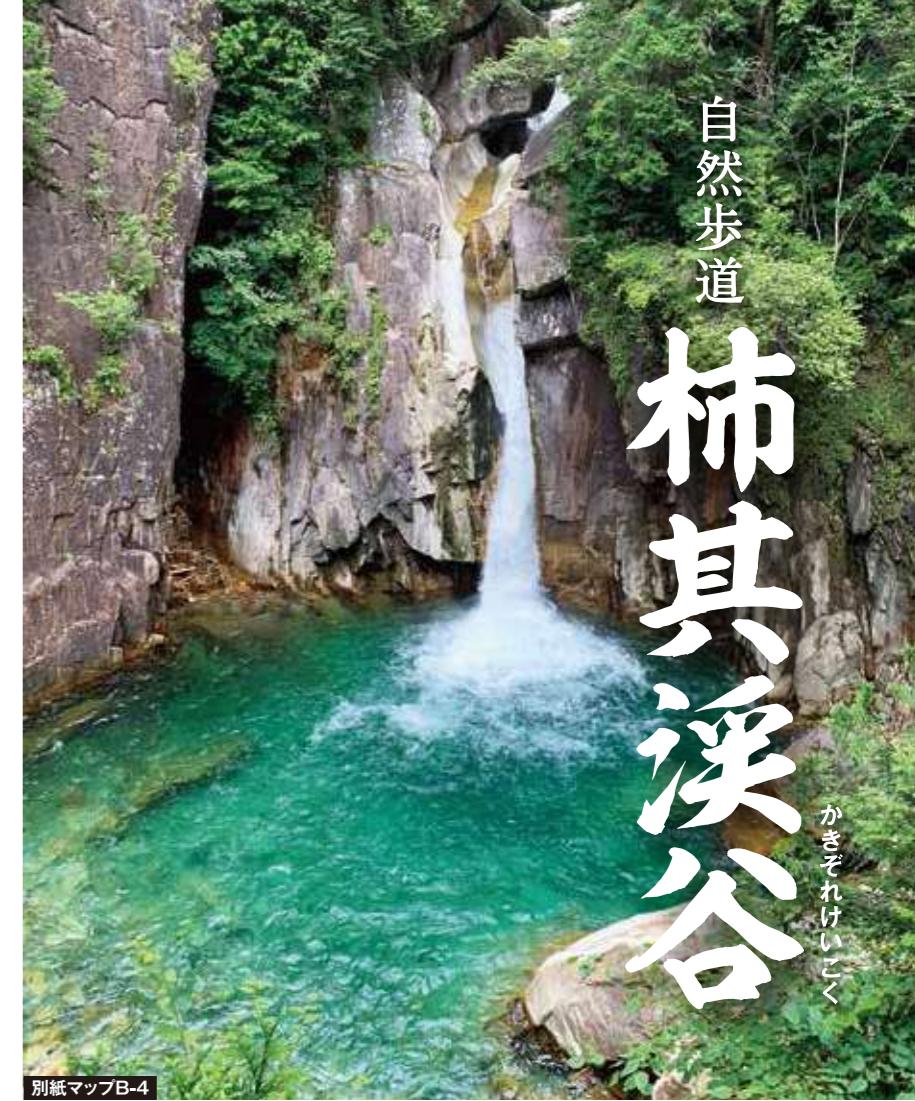
自然歩道

柿其渓谷

かきぞれいごく

渓谷美に
魅せられて。

木曽路の渓谷の中でも特に美しいと
いわれ、その清冽な流れと壮大な
自然の芸術は、どの季節でも旅人を
魅了する。

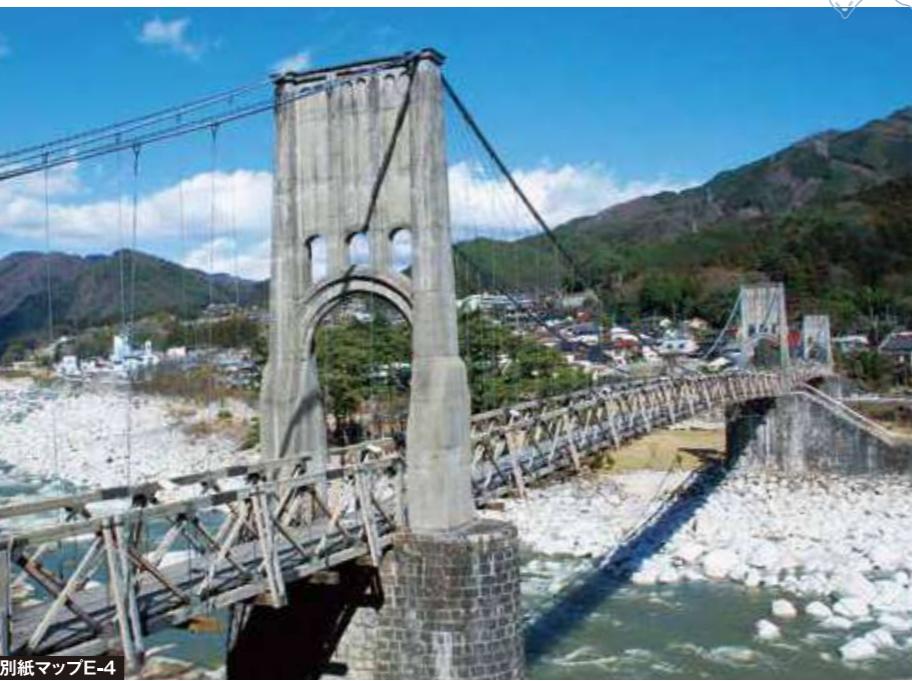


- 3 柿其渓谷**
(国の重要文化財)
約八kmにわたって、滝あり
瀬ありの変化に富んだ美
しい渓谷。一般には十二兼美
駅から自然歩道を通って
牛ヶ滝まで四・五km、さら
に奥へは林道を歩いて行
きます。
- 4 きこりの家**
(江戸末期の文久四年(一八六
四)に建てられた民家を解
体復元。自炊しながら昔の
生活が体験できます)。
- 5 柿其温泉**
(渓谷の宿いち川)
柿其渓谷入口へは温泉で、
入浴食事、休憩、宿泊がで
きる施設があります。泉質は単純
弱放射能冷鉱泉。
- 6 牛ヶ滝**
(うしがたき)
巨大な花崗岩が壯観な景
勝地。牛ヶ滝展望台への遊
歩道はお勧めのコースです。
- 7 霧ヶ滝**
(うしがたき)
牛ヶ滝からいたん戻り、林
道を歩歩四〇分。展望台か
らの眺めは爽快です。
- 8 イボとり観音**
(十一兼・中山觀音)
この觀音堂にある木の靴で
こするとイボがとれるとい
われています。毎年八月十
四日には觀音堂境内に出発
して十二兼をまわって歩文く
百万遍伝(町の無形民族文
化財)が行われています。
- 9 桃介橋**
(国の重要文化財)
電力王と敬称された福沢桃介
が架けた吊橋で全長二四七mの日本
でも最大級の木橋です。
- 10 天白公園**
(町の天然記念物・町花
ミツバツツジ群生地)
公園内には、ミツバツツジ
群落、桃介橋、福沢桃介記
念館・山の歴史館・悲しめる
乙女の像があり、見所いっぱい
です。
- 11 福沢桃介記念館**
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。
本陣跡地で樹齢五七〇年余
の木の杉が一株になっていて
「よすぎ」町天然記念物とも
いわれています。
- 12 悲しめる乙女の像**
昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。
- 13 読書発電所**
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

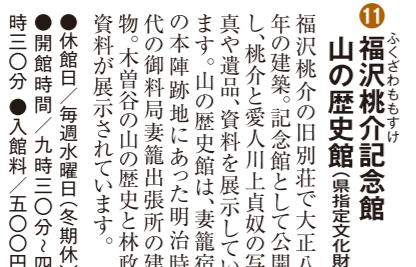
歴史浪漫
明治・大正の
面影。
天白公園
てんぱくこうえん



電力王・福沢桃介



別紙マップE-4
9 桃介橋 (国の重要文化財)
電力王と敬称された福沢桃介が、水力発電開発のために架けた吊橋で全長二四七mの日本でも最大級の木橋です。



11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像



昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。



13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。



別紙マップE-4
10 天白公園



別紙マップE-4
9 桃介橋 (国の重要文化財)
電力王と敬称された福沢桃介が、水力発電開発のために架けた吊橋で全長二四七mの日本でも最大級の木橋です。

10 天白公園
(町の天然記念物・町花
ミツバツツジ群生地)
公園内には、ミツバツツジ
群落、桃介橋、福沢桃介記
念館・山の歴史館・悲しめる
乙女の像があり、見所いっぱい
です。

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マップE-4
11 福沢桃介記念館
(山の歴史館)
福沢桃介の旧別荘で大正八年
年の建築。記念館として公開
し、桃介と愛人川上貞奴の写
真や遺品資料を展示しています。

12 悲しめる乙女の像

昭和二十八年七月の伊勢小
屋沢の蛇抜け(山津波)犠
牲者を悼んで作られたもの
です。「悲しめる乙女の像」
が座す大岩には蛇抜けを
警告する山言葉が大きくな
っています。

13 読書発電所
(国の重要文化財)
桃介橋・柿其水路橋とともに
国の近代化遺産として指
定されており、大正期の水
路式発電所施設を代表す
るものです。

別紙マップE-4
10 天白公園

別紙マ

自然

南木曾山麓

なぎさんるく

大自然の遊び場。

キャンプや登山、森林浴などのアウトドアスポーツの基地。森はいつも素顔で迎えてくれる。



心も体もリラックス。

コンコンと湧く天然温泉。
やわらかな湯が心にまでしみわたる。

心地いい風の中で、心も体も深呼吸。



明治期より、漆煙に木地師が集まり、村をつくりました。彼らは技術を磨き、継承し、そして今、この地は木地師の里として、様々な製品が作られています。どこからか木の香りが漂ります。



南木曾ろくろ細工(国の伝統的工芸品に指定)

健
地
康

富貴畠高原

ふうきばたこうげん



別紙マップF-6

⑦ 富貴畠
高原温泉郷
(滝見の家・ホテル富貴の森)

富貴畠高原にある温泉で、それぞれ入浴、食事休憩ができる施設と宿泊施設があります。泉質はアルカリ性単純泉。



別紙マップF-6

⑧ 富貴畠高原の花桃
(庄素泊りのみの周辺、標高約1,000mの高原に、白・赤・ピンク三色咲き分けの花桃が春の訪れる告げます。五月の連休頃が見頃です。)

飯田市との境、標高1,300m~1,500m、二四八haの高原。ヒノキ、サワラ、ブナ等の天然林やカラマツの豊かな自然の中、作られた散策路からは、南アルプス、御嶽山、遠くには乗鞍岳を望むことができます。



基
地
康

富貴畠高原

ふうきばたこうげん



別紙マップF-7



【サンセットポイント】
●大平峰の
木曾見茶屋
(信州のサンセットポイント百選)
全山が紅葉する秋の夕日は周囲を絞錦色、黄金色に染め、幽玄の世界に誘います。



① 南木曾岳
(日本山岳遺産)
標高六七六m、木曾三岳の一
つ。古くは山岳修験場となつ
てきました。山頂の見晴台か
らは南アルプス、中央アルプス、
御嶽山などが一望で
きます。

② 蘭美林
(自然探勝園)
樹齢三百年以上の木曾五木
(ひのき・さわら・あすなろ・
ねずこ・こうやまき)群生林
の中を自然の宝庫として樂
します。



南木曾岳より御嶽山を望む
別紙マップE-5



③ 南木曾温泉郷
(大江戸温泉物語
ホテル木曾路)
国道二五六号線沿
い蘭地区にある温浴
泉で、入浴と食事も
できます。泉質はア
ルカリ性単純泉。

④ 南木曾山麓蘭キャンプ場
(南木曾岳南麓、標高八〇〇
m~九〇〇mの森の中にキヤ
ビンやバンガロー村、オート
キャンプ場等の施設があり、
近くの額付川は水遊びや魚
釣りなどに最適です。オープン
は四月~十月。

⑤ 木地師の家
(ひのきがさ)
明治後期の掘立小屋形
式の民家を移築元したも
の。部屋の中に積まれたも
くろのかんなクズを敷き、
詰めた上のムシロ床などを
使っての木地師の家を
残させています。

⑥ 桧笠の家
(ひのきがさ)
明治後期の掘立小屋形
式の民家を移築元したも
の。部屋の中に積まれたも
くろのかんなクズを敷き、
詰めた上のムシロ床などを
使っての木地師の家を
残させています。



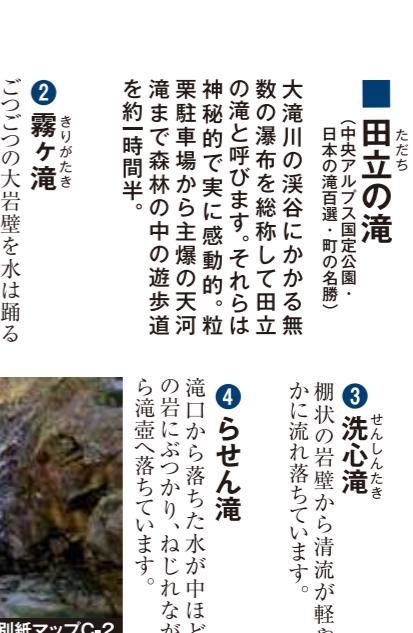
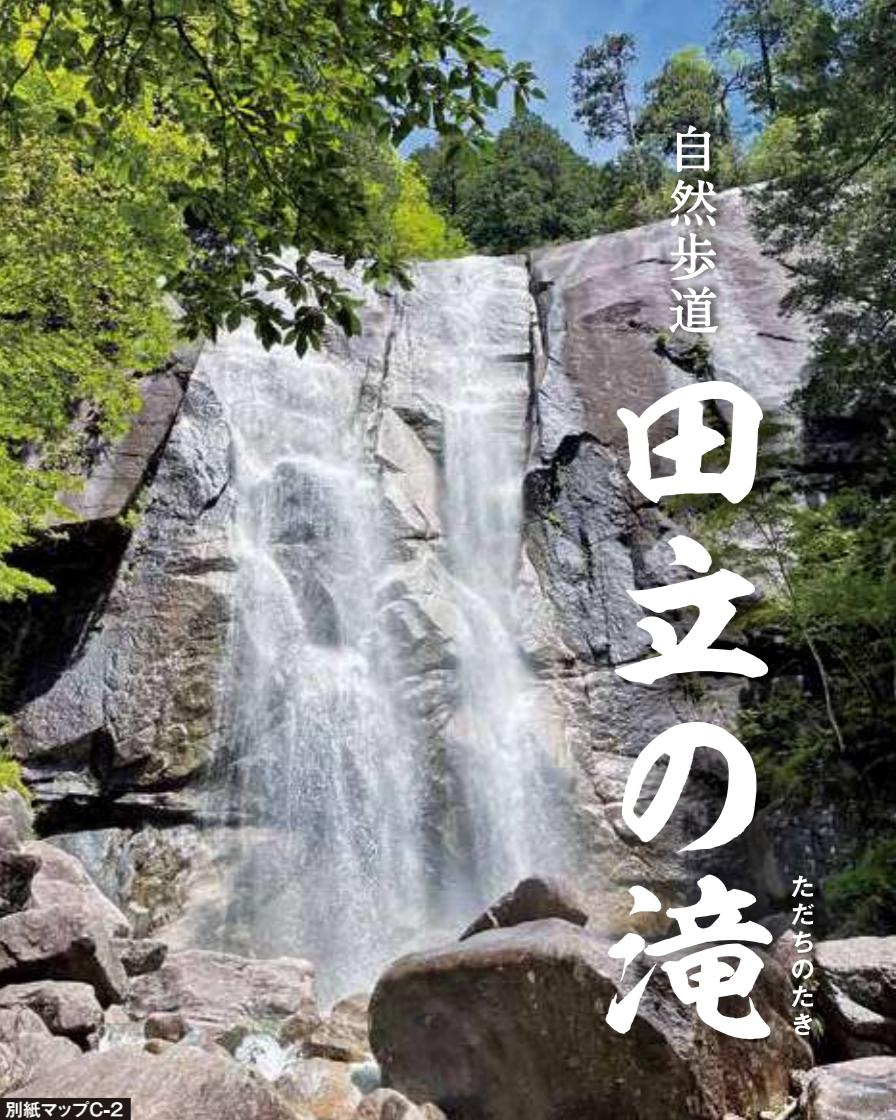
自然歩道

田立の滝

ただちのたき

滝・滝・滝。岩肌を打付ける水しぶきが、マイナスイオンを作り出す。ハードな自然道も、清々しく感じてしまう。

水壮大な、水の造形。



手作り 体験

ろくろ細工 (通年・要予約)



南木曽ろくろ工芸協同組合

(0264) 58-2041

古来からの伝統技法の手挽きで作るオリジナル皿。
●料金/1人3,300円~ ●所要時間/約60分
※電動ろくろでの皿作り体験もあり

桧笠作り (通年・要予約)



自然と素朴な風土から生まれたミニ桧笠の手編み作り。
●料金/1人2,500円 ●所要時間/約2時間

紙すき (12月~3月・要予約)



田立和紙の家 (0573) 75-4910

伝統的技法による紙すき体験。
●料金/1人1,500円 ●所要時間/約2時間



木曽ならではの風土と
生活の中で生まれた。

匠

技と木の温もりを
今に伝えて



●桧笠製品
薄く削って短冊状にした桧を使って、昔ながらの手編みで作られた桧笠は、美しい網目、香りと共に実用的な一品です。



●ろくろ製品
トチ・ケヤキ・イチイなどを材料として作られた、木目の美しい茶びつ・お盆・木地鉢などがあります。



●渓流魚
木曽の清流を利用して養殖されたイワナやアマゴ・ニジマスなどが、甘露煮・燻製・塩焼きなどで味わえます。



●桶製品・小木工芸品
ヒノキ・サワラで作った寿司桶・漬物桶・手桶などの桶製品。箸・しゃもしらなどの家庭用品が豊富に揃います。



●そば
黒めで少し太めの素朴な手打ちそばは、この地域の名物です。



●五平餅 (ごへいもち)
わらじ型と団子型の2種類があり、クルミ・ゴマなどの醤油ベースのタレをつけて炭火であぶっています。香ばしい木曽の名物です。



●えごま油
100%南木曽町産のえごまを使用。えごま油は、健康のために不可欠なオメガ3系脂肪酸を豊富に含んでいます。身体に良いと言われている自然食品です。



●ねこ
中綿を入れて大きく袖を開けた袢纏(はんてん)で、着るほどびたり背中にくっつけます。軽くて動きやすく快適、背中を暖めるので寒い季節にはなくてはならない一品です。

EVENT**祭・イベント**

歴史を物語る、
おごそかな祭りやイベント。
南木曽が一つになる日です。

**なぎそミツバツツジ祭り E-4**

4月中旬。天白公園に群生する約400株のミツバツツジが鮮やかなピンク色の花を咲かせます。期間中には地元の物産や、ツツジ苗などの販売が行われます。

**花馬祭(田立) E-2 県無形民俗文化財**

10月第1日曜日。五色の紙で稲穂を形取って作られた花を、鞍に飾った3頭の木曾馬が笛太鼓とともに田立駅前広場から五宮神社まで練り歩きます。境内を3周すると待っていた人々と一緒に花を取り合います。取った花は家の入口にさすと厄除け、田畠にさすと虫除けになると伝えられています。田立駅前広場を12時30分出発。

**白山神社祭礼(与川) C-5**

5月5日・10月第3日曜日。午後1時から境内で神事が行われ、江戸時代に加賀白山の人々が伝えたという雌獅子による典誥な悪魔払いの舞が奉納されます。祭りでは、お神酒として地酒の「仙酒」が振る舞われ、この地方恒例の餅投げが行われお開きになります。(町民族文化財)

**妻籠健康マラソン大会 E-4・F-4**

6月第1日曜日。「3キロ、6キロ、10キロ、親子ペア」のコースで新緑の中山道、妻籠宿の自然と歴史にふれながら楽しく走ります。

妻籠宿火まつり F-4

8月第4土曜日。妻籠宿本陣前で火伏の神事、ふれあい館で郷土の伝統芸能が楽しめます。

工芸街道祭り(蘭・広瀬) F-5・G-6

11月上旬。伝統工芸品のろくろ細工・桧笠製品や、桶などの木工品の実演、特売が笠の家・木地師の里を主会場に開催されます。

文化文政風俗絵巻之行列(妻籠) E-4・F-4

11月23日。武士や駕籠かき、虚無僧、鳥追い女、木曾馬に乗った花嫁行列などが中山道を往来し江戸時代の風俗を再現します。10時30分に渡島を出発し妻籠宿でお昼、さらに大妻籠まで歩きます。

お問い合わせ**一般社団法人 南木曽町観光協会
(妻籠観光案内所)**

〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2196-1
TEL 0264-57-2727 FAX 0264-57-4036
TEL 0264-57-3123 (観光案内専用)

(一社) 南木曽町観光協会ホームページアドレス
<https://nagiso.jp/>



南木曽町
観光協会
HP



妻籠観光
協会 HP



南木曽町
HP

妻籠観光協会ホームページアドレス
<https://tsumago.jp/>

南木曽町ホームページアドレス
<http://www.town.nagiso.nagano.jp/>

**交通のご案内**

車で：塩尻 IC / 伊那 IC から 1 時間 30 分
中津川 IC から 30 分
飯田山本 IC から 50 分